

消防 年報



令和 2 年版

光地区消防組合



まえがき

この消防年報は、光地区消防組合の管轄区域（光市、田布施町、周南市（熊毛地域））における消防現勢及び消防業務の執行に関する諸般の実績を収録し、今後の消防行政に資するとともに、当消防組合の現状を広く紹介するために編集したものです。

令和3年12月

光地区消防組合

この消防年報における周南市は、本消防組合の管轄区域（平成15年4月20日における熊毛町の区域）に限る。

消 防 指 針

1 ニーズに対応せよ

「ニーズに対応せよ」とは

消防の内外を問わず、あらゆる消防業務の要望に対応できる資質・体制を整えることである。

1 スペシャリティに徹せよ

「スペシャリティに徹せよ」とは

我々は消防の専門家であり、創意工夫とプロ意識を持ち、知識・技術の習得、向上に励み、たえず訓練をすることである。

1 セイフティを考えよ

「セイフティを考えよ」とは

職員は、すべてのことに対して安全意識を持ち、士気の高揚を図ることである。

1 シュアに行動せよ

「シュアに行動せよ」とは

消防業務遂行にあたっては、常に協調性を持って確実かつ信頼のおける活動と、何事にも迅速的確に行動することである。

1 ヘルスを維持せよ

「ヘルスを維持せよ」とは

体力・気力の充実が基本であり、平素より自己管理を怠ることなく、明朗闊達かつ健全な精神を保持することである。

何事も至誠をもってあたり、信頼され尊敬され地域に親しまれ愛される消防人を目指そう。

光地区消防組合
平成5年4月1日制定

目次

概 要	5
位置と地勢.....	5
消防庁舎の概要.....	6
光地区消防組合の沿革.....	7
管轄内で発生した災害の記録.....	10
総 務 編	11
光地区消防組合の組織.....	11
令和2年の主な行事.....	12
令和3年度当初予算.....	13
当初予算分担金及び負担金の推移.....	13
決算収支の推移.....	13
職員人事.....	14
職員の教育研修状況.....	15
消防音楽隊の概況.....	15
消防応援協定等状況.....	16
予 防 編	17
火災予防業務.....	17
防火対象物数.....	17
各種事務処理件数.....	18
中高層建物一覧.....	19
危 険 物.....	20
施設数.....	20
事務処理件数.....	21
仮貯蔵・仮取扱い承認件数.....	22
立入検査状況.....	22
各種届出状況.....	22
その他.....	23
条例等に基づく各種届出・査察状況.....	23
少年消防クラブ.....	24
幼年消防クラブ.....	24
婦人防火クラブ.....	24
その他の団体.....	24
消 防 編	25
火 災.....	25
火災概要（1）.....	25
火災概要（2）.....	26
出火原因別火災件数.....	27
時間別火災発生状況.....	27
救 急.....	28
出動件数.....	28
搬送人員数.....	29

事故種別年齢区分別傷病程度別搬送人員数	30
救急隊員の行った応急処置（１）	31
救急隊員の行った応急処置（２）	32
ドクターヘリ要請件数	32
応急手当の普及啓発活動実施状況	33
救急資機材配備状況（主たる資機材）	33
救 助	34
事故種別出動件数	34
特殊器具配置状況	34
ホース保有状況	36
消火薬剤備蓄状況	36
車両の配備	36
車両の配備（詳細）	37
市町別公設水利設置状況	38
通信指令編	39
119番通報受信状況	39
有線通信施設	40
無線通信施設	41
無線系統図	41
防災センター	42
役割	42
延べ利用者数	42
月別利用状況	42
利用団体内訳	42

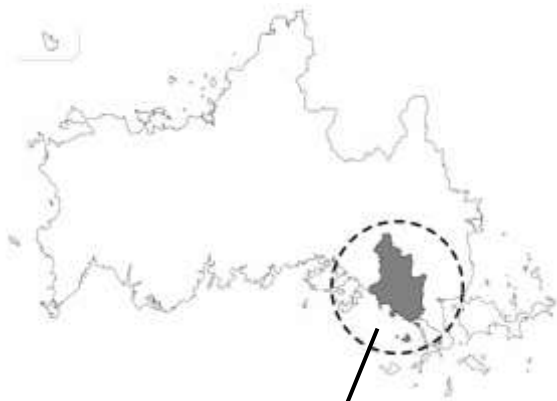
概要

位置と地勢

当消防組合は山口県の東南部に位置し、光市、田布施町及び周南市の2市1町で構成しており、管内面積は約213k㎡、管内人口は約7万8千人となっています。

北部はナベヅルが飛来する山間部、中央部は島田川及び田布施川を中心に田園地域が広がる平野部、南部は周防灘に面する白砂青松の景勝地となっています。

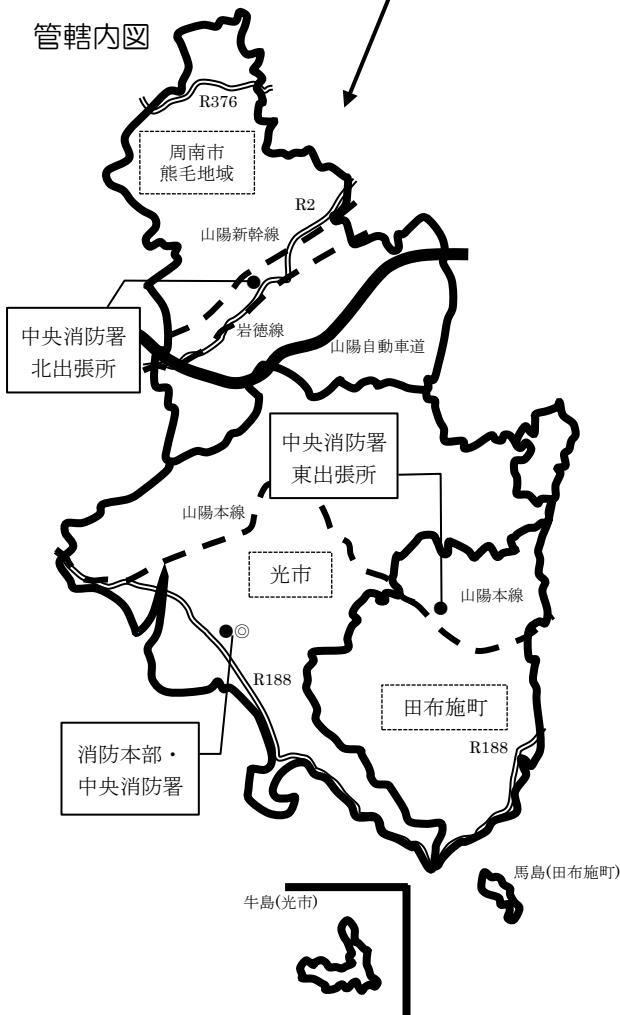
位置図



面積・人口及び世帯数 (令和3年4月1日現在)

区分 市町	面積 (k㎡)	人口 (人)	世帯数 (戸)
光市	92.13	48,923	21,243
田布施町	50.42	14,439	6,152
周南市 (熊毛地域)	70.50	14,789	6,714
合計	213.05	78,151	34,109

管轄内図



八代のナベヅル (周南市)

伊藤公資料館 (光市)



象鼻ヶ岬 (光市)



田布施川桜並木 (田布施町)



消防庁舎の概要

区分	所在地	庁舎の構造	経過
消防本部	〒743-0011 光市光井六丁目 16 番 1 号 TEL 0833-74-5600 FAX 0833-74-5611 (総務課) TEL 0833-74-5601 (予防課) TEL 0833-74-5602 (警防課) TEL 0833-74-5603 (防災センター) TEL 0833-74-5606	敷地面積 13,374.86 m ² ○庁舎棟 鉄筋コンクリート造一部鉄骨造 3 階建 建築面積 2,241.39 m ² 延べ面積 3,298.29 m ² ○訓練塔 主塔 鉄筋コンクリート造 7 階建 建築面積 28.50 m ² 延べ面積 118.00 m ²	H15.2.28 竣工 H15.2.28 竣工
	中央消防署 (中央消防署) TEL 0833-74-5605 FAX 0833-74-5614 (中央消防署指令係) TEL 0833-74-5604	副塔 鉄筋コンクリート造 3 階建 建築面積 144.96 m ² 延べ面積 273.57 m ²	
東出張所	〒742-1503 田布施町大字宿井 1091 番 1 TEL 0820-52-3103 FAX 0820-52-3104	敷地面積 1,042.46 m ² ○庁舎棟 鉄筋コンクリート造平屋建 建築面積 239.72 m ² 延べ面積 239.72 m ² ○少量危険物貯蔵所 コンクリートブロック造平屋建 建築面積 6.34 m ² 延べ面積 6.34 m ²	S48.3 竣工 H10.3 増築 S48.7 竣工
北出張所	〒745-0612 周南市大字呼坂 10009 番 2 TEL 0833-91-0001 FAX 0833-91-0002	敷地面積 1,010.92 m ² ○庁舎棟 鉄筋コンクリート造一部鉄骨造平屋建 建築面積 306.13 m ² 延べ面積 295.93 m ² ○少量危険物貯蔵所 コンクリートブロック造平屋建 建築面積 6.34 m ² 延べ面積 6.34 m ²	S48.3 竣工 H4.11 増築 H10.12 増築 S48.7 竣工

光地区消防組合の沿革

昭和23年 (1948年)	3月7日	消防組織法の施行 (自治体消防発足)
昭和26年 (1951年)	3月31日	光市が消防本部を設置 (市役所内)
昭和28年 (1953年)	4月16日	光市消防署を設置
	6月1日	光市光井宮元町 (現 光市中央四丁目) に消防署を新築
	6月10日	業務開始 (1本部、1署、職員数16名、消防ポンプ自動車1台、自動三輪車1台)
昭和36年 (1961年)	6月27日	光市光井正門町4番地 (現 光市中央五丁目12番1号) に光市消防本部及び光市消防署竣工 (延べ面積270㎡)
昭和43年 (1968年)	10月1日	救急業務開始 (救急自動車1台)
昭和47年 (1972年)	3月4日	大和町、田布施町及び熊毛町が消防本部・消防署の義務設置の政令指定について自治省へ陳情書提出
	4月15日	消防本部及び消防署を置かなければならない市町村を定める政令 (昭和46年政令第170号) により、大和町、田布施町及び熊毛町が消防本部及び消防署を置かなければならない市町村に指定
	6月23日	光地区消防組合設置許可申請書を山口県知事に提出
	7月1日	山口県知事許可、光地区消防組合発足 (光市、大和町、田布施町及び熊毛町が共同設置)
	12月6日	城南出張所 (現 東消防署 田布施町大字宿井1091番1) 及び呼坂出張所 (現 北消防署 周南市大字呼坂10009番2) 起工
昭和48年 (1973年)	3月31日	光地区消防組合業務開始 (1本部、1署、2出張所、職員数58名、消防ポンプ自動車3台、水槽付消防ポンプ自動車2台、屈折はしご付消防ポンプ自動車1台、救急自動車4台、その他の車両5台)
	4月11日	職員定数81名
	5月15日	光市光井正門町4番地 (現 光市中央五丁目12番1号) に消防本部及び光消防署庁舎竣工
	6月14日	光消防署に消防ポンプ自動車1台を配備 (日本損害保険協会から寄贈)
	7月5日	光地区アクアラング協力隊が発足 (光市防災協会の部会として、アクアラング協会隊員8名、光消防署アクアラング隊員5名で結成)
	7月11日	光地区消防組合消防本部庁舎開庁式
昭和49年 (1974年)	8月1日	職員定数83名に改正
昭和50年 (1975年)	9月22日	光消防署に救急自動車1台を配備 (日本消防協会から寄贈)
昭和51年 (1976年)	4月3日	消防本部に広報車1台を配備
昭和53年 (1978年)	12月13日	光消防署に救急自動車1台を配備 (山口県生命建物共済農業組合連合会から寄贈)
昭和54年 (1979年)	4月1日	職員定数84名に改正
	9月5日	消防本部に広報車1台を配備
昭和56年 (1981年)	3月31日	消防本部敷地内に倉庫 (鉄骨造、延べ面積83.3㎡) 及び非常用発電機室 (コンクリートブロック造、延べ面積8.75㎡) 竣工
	4月1日	職員定数85名に改正
	10月29日	光消防署に消防ポンプ自動車1台を配備
昭和57年 (1982年)	6月15日	城南出張所に水槽付小型動力ポンプ積載車1台を配備
	6月18日	光地区消防音楽隊を設置
	9月26日	呼坂出張所に救急自動車1台を配備 (日本消防協会から寄贈)
	12月15日	呼坂出張所に水槽付小型動力ポンプ積載車1台を配備
昭和58年 (1983年)	10月20日	光消防署に化学消防ポンプ自動車1台を配備 (日本損害保険協会から寄贈)
	10月25日	光消防署の水槽付消防ポンプ自動車1台を更新
昭和59年 (1984年)	3月15日	光消防署の倉庫を増築 (延べ面積138.69㎡)
	4月1日	光消防署に水難救助隊を編成

	11月14日	城南出張所の消防ポンプ自動車1台を更新
昭和60年 (1985年)	1月18日	光消防署の救急自動車1台を更新
	10月30日	呼坂出張所の消防ポンプ自動車1台を更新
	11月10日	消防一斉通報指令装置を導入
昭和61年 (1986年)	11月29日	光消防署庁舎を増築 (92㎡増築)
昭和62年 (1987年)	2月23日	城南出張所の救急自動車1台を更新
	11月11日	光消防署の水槽付消防ポンプ自動車1台を更新
平成元年 (1989年)	3月29日	光消防署に訓練塔竣工 (5階建、延べ面積94.3㎡)
平成2年 (1990年)	2月28日	光消防署に救急自動車1台を配備 (日本自動車工業会から寄贈)
平成3年 (1991年)	2月5日	光消防署に救急自動車1台を配備 (山口県生命建物共済農業協同組合から寄贈)
	2月8日	光消防署にはしご付消防自動車 (30m級) を配備
	4月1日	職員定数87名に改正
	12月20日	光消防署に救助工作車を配備
平成4年 (1992年)	2月25日	光消防署の消防ポンプ自動車1台を更新
	4月1日	職員定数93名に改正
	6月23日	城南出張所の水槽付小型動力ポンプ積載車1台を更新
	7月1日	予防業務の窓口を一部変更 (城南出張所及び呼坂出張所で予防事務取扱開始)
	9月14日	衛生通信ネットワーク整備事業完成に伴い防災行政無線の運用開始
	12月1日	山陽自動車道開通に伴い呼坂出張所に救急車1台を追加配備
平成5年 (1993年)	4月1日	光地区消防組合消防指針を制定
	9月1日	消防本部に広報車1台 (防火号) を配備 (日本防火協会寄贈)
	10月15日	呼坂出張所に水槽付小型動力ポンプ積載車1台を配備
	12月1日	円滑な消防業務の推進を図るため、大和町、田布施町及び熊毛町からの119番通報を光消防署の通信室に統合し一斉指令装置を整備
平成6年 (1994年)	4月1日	職員定数97名に改正
平成7年 (1995年)	4月1日	3消防署体制に組織改編 光消防署を中央消防署に、城南出張所を東消防署に、呼坂出張所を北消防署に変更 消防本部に連絡車1台 (クラウン) を配備、中央消防署に消防ポンプ自動車1台 (CD-1) を配備、東消防署に救急自動車1台を配備、インパルス消火システムその他応急処置資機材・救助資機材を配備
平成8年 (1996年)	4月1日	職員定数107名に改正
	10月1日	光地区消防組合職員委員会を設置
	12月19日	東消防署の消防ポンプ自動車1台を更新、中央消防署の水槽付消防ポンプ自動車1台を更新
平成9年 (1997年)	2月7日	中央消防署に高規格救急自動車1台を配備
	4月1日	救急救命士の運用を開始
	12月11日	管理者が消防本部庁舎の新築移転を表明
平成10年 (1998年)	2月20日	光地区消防組合議会において消防本部庁舎の新築移転に伴う庁舎用地購入の債務負担行為が可決
	4月1日	組織改正により3部制による勤務体制に変更 携帯電話からの119番通報受信開始 (県下5ブロック (下関、宇部、山口、徳山、岩国) の代表消防本部に入電する分散受信方式)
	12月18日	北消防署の消防ポンプ自動車1台を更新
平成11年 (1999年)	2月10日	中央消防署の化学消防ポンプ自動車 (Ⅱ型) 1台を更新
	4月1日	F a x 1 1 9 の運用を開始
平成12年 (2000年)	12月8日	北消防署の救急自動車 (2B) 1台を高規格救急自動車に更新
平成13年 (2001年)	3月22日	消防庁舎建設用地15,368㎡を光市土地開発公社から取得

	4月1日	職員定数113名に改正
	8月29日	消防本部に連絡車を配備
	10月29日	中央消防署に水槽付消防ポンプ自動車1台を配備（日本損害保険協会から寄贈）
平成14年（2002年）	1月7日	光地区消防組合消防本部庁舎起工
	3月25日	中央消防署の水槽付消防ポンプ自動車1台を災害対応特殊水槽付消防ポンプ自動車に更新
平成15年（2003年）	1月30日	東消防署の救急自動車（2B）1台を高規格救急自動車に更新
	2月28日	光市光井六丁目16番1号に光地区消防組合消防本部庁舎・防災センター竣工、総事業費21億円（用地取得費含む）
	4月1日	新庁舎での業務を開始
	4月21日	周南市発足に伴い光地区消防組合構成市町が2市2町（光市、大和町、田布施町、周南市）となる
	9月1日	Eメール119番の運用を開始
平成17年（2005年）	3月29日	中央消防署の救急自動車（2B）1台を高規格救急自動車に更新
	10月19日	携帯電話からの119番通報の直接受信開始（山口県下一斉）
平成18年（2006年）	9月21日	防災センター「あんしんねっと光」利用者が2万人を達成
平成19年（2007年）	3月23日	中央消防署の高規格救急自動車1台を更新
平成21年（2009年）	1月29日	北消防署の高規格救急自動車1台を更新（日本損害保険協会から寄贈）
平成22年（2010年）	12月29日	中央消防署の救助工作車1台を更新
平成23年（2011年）	3月14日	東北地方太平洋沖地震（最大震度7）の発生により山口県緊急消防援助隊として消火小隊1隊を宮城県へ派遣（派遣隊員数5名）
	3月30日	東消防署の水槽付小型動力ポンプ積載車1台を更新
	12月20日	東消防署の高規格救急自動車1台を更新
平成24年（2012年）	2月9日	北消防署の水槽付小型動力ポンプ積載車1台を水槽付消防ポンプ自動車に更新
平成25年（2013年）	3月26日	中央消防署の消防ポンプ自動車1台（CD-1）を更新
平成26年（2014年）	2月20日	東消防署の消防ポンプ自動車1台（CD-1）を更新
	8月28日	広島県で大規模な土砂災害が発生し山口県緊急消防援助隊として消火小隊1隊を広島県へ派遣（派遣隊員数5名）
平成27年（2015年）	3月19日	北消防署の消防ポンプ自動車1台（CD-1）を更新、中央消防署の高規格救急自動車1台を更新
平成28年（2016年）	4月1日	アナログ無線を廃止し消防救急デジタル無線の運用を開始
	4月16日	熊本地震（最大震度7）の発生により山口県緊急消防援助隊として消火小隊2隊及び後方支援小隊2隊を熊本県へ派遣（延べ派遣隊員数14名）
	7月11日	高機能消防指令センター起工
平成29年（2017年）	3月24日	高機能消防指令センター竣工
	3月28日	高機能消防指令センターでの指令業務を開始
	7月6日	福岡県で豪雨災害（平成29年7月九州北部豪雨）が発生し山口県緊急消防援助隊として消火小隊1隊及び後方支援小隊1隊を派遣（延べ派遣隊員数35名）
	8月28日	広島市と消防相互応援協定を締結
平成30年（2018年）	3月2日	中央消防署のはしご付消防自動車を屈折はしご付消防自動車に更新、北消防署の高規格救急自動車1台を更新
	7月6日	広島県で豪雨災害（平成30年7月豪雨）が発生し山口県緊急消防援助隊として消火小隊1隊を派遣（延べ派遣隊員数20名）
令和2年（2020年）	3月27日	消防本部に資機材搬送車を配備、中央消防署の消防ポンプ自動車（CD-1）を小型動力ポンプ積載車に更新
	7月6日	熊本県で豪雨災害（令和2年7月豪雨）が発生し山口県緊急消防援助隊として消火小隊1隊、後方支援小隊1隊を派遣（延べ派遣隊員数9名）

令和3年(2021年) 3月26日 光東株式会社と災害時におけるレンタル資機材の供給に関する協定を締結
 4月1日 1消防署2出張所体制に組織改編
 東消防署を中央消防署東出張所に、北消防署を中央消防署北出張所に変更
 NET119の運用を開始

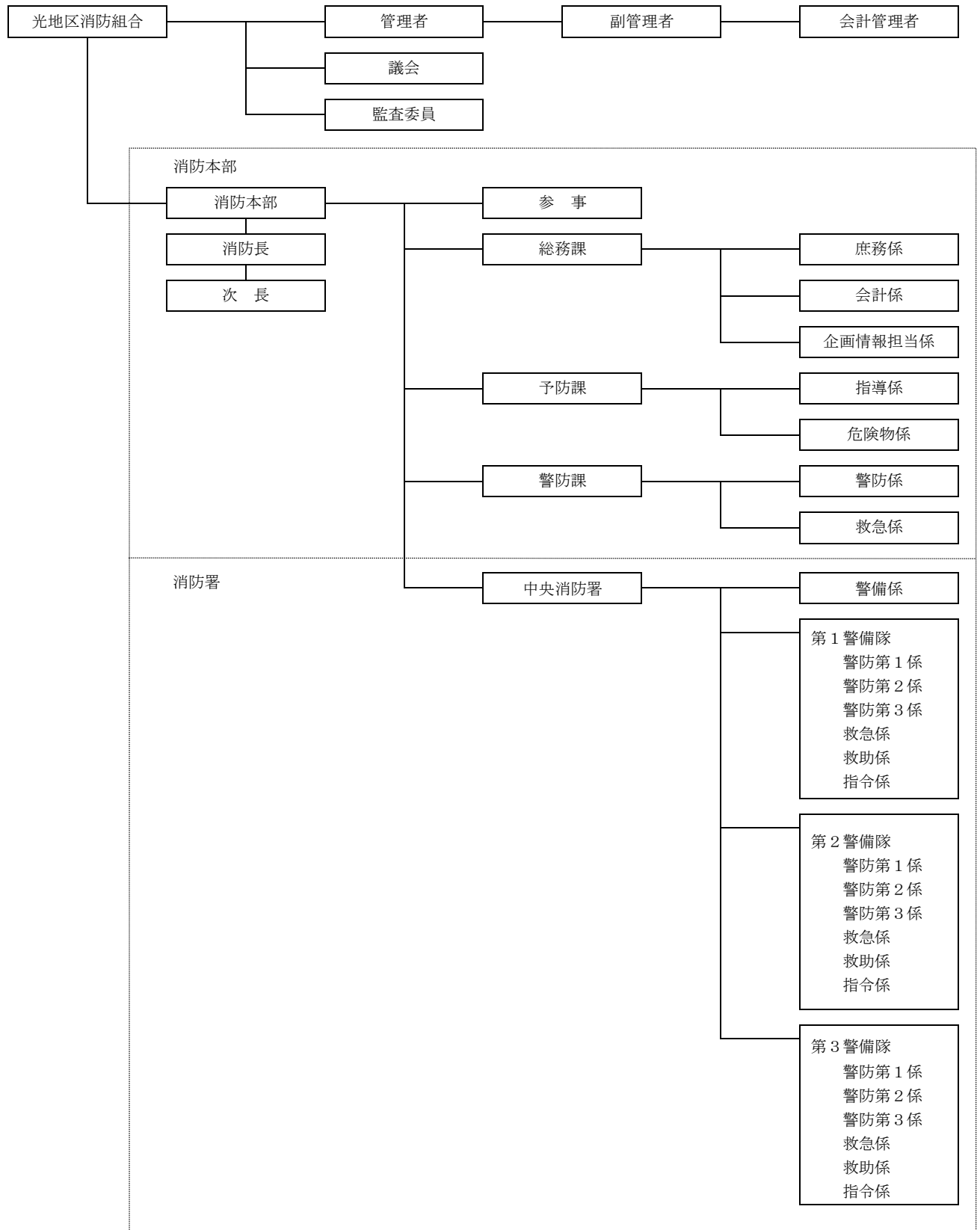
管轄内で発生した災害の記録

年月日	災害種別	災害の概要
昭和26年(1951年) 10月14日	台風災害	ルース台風により、漁船(全損30隻、被損92隻)、家屋(全壊56戸、半壊95戸)が被害を受け、10名が負傷した。また、島田川に架けられていた千歳橋が流出した。
昭和43年(1968年) 4月7日	林野火災	光市室積の千坊山で林野火災が発生し29時間延焼し続け143haが焼失した。
昭和55年(1980年) 7月7日	大雨災害	豪雨により島田川の堤防が決壊した。水源地から配水池間の送水管が破損し、市内全域が断水した。
平成3年(1991年) 9月27日	台風災害	台風19号により防波堤が決壊したことから、191戸が床上・床下浸水の被害に遭い、211名の住民が避難した。(最大風速42mを記録)
平成4年(1992年) 9月4日	労働災害	JR岩徳線中山トンネル内の酸欠事故により、29名が負傷した。
平成5年(1993年) 8月2日	大雨災害	山口・九州地方で猛烈な雨が降り、光市で2名、大和町で1名が死亡した。(日積算降雨量158.4mm)
平成10年(1998年) 7月2日	建物火災	光市中央で発生した住宅火災により3名が死亡し、1名が負傷した。
平成16年(2004年) 9月7日	台風災害	台風18号により、家屋(全壊1戸、半壊2戸)の被害が発生し、225世帯547名が避難した。(最大風速45.2m)
平成17年(2005年) 6月10日	爆発事故	生徒が教室に爆発物を投げ込み、56名の負傷者が発生した。救急車等11台の車両が出場し、救急活動にあたった。
平成30年(2018年) 7月5日～7月8日	大雨災害	西日本を中心に猛烈な雨が降り、土砂災害により周南市大字樋口で1名が死亡した。そのほか、島田川沿い(光市)などで浸水被害が発生した。

総務編

光地区消防組合の組織

令和3年4月1日現在



令和2年の主な行事

- 1月 6日 公務始め
- 1月 9日 年頭視閲式
- 1月17日 防災教室2020（周防地区）
- 1月24日 山口県消防防災ヘリと合同訓練（光市牛島）
文化財防火デーに伴う防火診断（9箇所）
- 2月 7日 第1回光地区消防組合議会定例会
- 2月13日 ハラスメント防止研修（全職員対象）
- 3月27日 車両配備式（資機材搬送車、小型動力ポンプ積載車）
- 4月 1日 辞令交付式
- 7月 6日 令和2年7月豪雨災害（熊本県）に伴い、山口県緊急消防援助隊として延べ9名を派遣
- 7月29日 第2回光地区消防組合議会臨時会
- 10月12日 第18回消防まつり（ホームページで11月13日まで開催）
- 10月18日 職員採用試験（1次試験）
- 11月 4日 第3回光地区消防組合議会定例会
- 11月11日 職員採用試験（2次試験）
- 11月18日 職員採用試験合格発表
- 12月28日 公務納め



小型動力ポンプ積載車を配備（車両配備式 令和2年3月27日）

令和3年度当初予算

単位：千円

歳入		歳出	
分担金及び負担金	1,175,241	議会費	207
使用料及び手数料	1,000	総務費	778
財産収入	1	消防費	1,052,759
繰入金	4,000	公債費	170,487
繰越金	15,000	予備費	7,769
諸収入	8,758		
組合債	28,000		
合計	1,232,000	合計	1,232,000

当初予算分担金及び負担金の推移

単位：千円

年度 \ 市町	光市	田布施町	周南市	合計
平成29年度	644,903	227,291	229,648	1,101,842
平成30年度	653,434	230,262	232,650	1,116,346
令和元年度	686,283	241,975	244,484	1,172,742
令和2年度	694,632	244,947	247,487	1,187,066
令和3年度	687,744	242,491	245,006	1,175,241

決算収支の推移

単位：千円

年度 \ 区分	歳入	歳出
平成27年度	1,320,139	1,293,231
平成28年度	1,413,609	1,337,096
平成29年度	1,393,089	1,361,225
平成30年度	1,186,015	1,150,424
令和元年度	1,248,436	1,214,143

職員人事

令和3年4月1日現在 単位：人

区分		階級	消 防 監	消 防 司 令 長	消 防 司 令	消 防 司 令 補	消 防 士 長	消 防 副 士 長	消 防 士	合 計	うち 再任用	
配 置 状 況	本 部	消 防 長	1							1		
		次 長	(1)							(1)		
		参 事			1						1	1
		総 務 課			4	2	2			3	11	
		予 防 課			2	2	2	1			7	
		警 防 課			2	1	2				5	
		派遣・研修 防災センター				(1)					(1)	
	中 央 消 防 署	本 署			7	20	16	4	4		51	
		東 出 張 所			2	6	4	2	4		18	
		北 出 張 所			2	4	5	3	4		18	
	合 計		1(1)		20(1)	35	32	10	15	113(2)	1	
	年 齢 構 成	20歳未満							3		3	
		20歳以上25歳未満							9		9	
25歳以上30歳未満						8	10	3		21		
30歳以上35歳未満					1	16				17		
35歳以上40歳未満					8	7				15		
40歳以上45歳未満				5	13	1				19		
45歳以上50歳未満				11	11					22		
50歳以上55歳未満				3	1					4		
55歳以上60歳未満		1			1					2		
60歳以上				1						1	1	
合 計		1		20	35	32	10	15	113	1		
勤 続 年 数	5年未満					1	2	9		12		
	5年以上10年未満					5	5	6		16		
	10年以上15年未満				1	21	3			25		
	15年以上20年未満				8	5				13		
	20年以上25年未満			12	11					23		
	25年以上30年未満			4	11					15		
	30年以上35年未満			2	3					5		
	35年以上40年未満			2						2	1	
	40年以上	1			1					2		
	合 計		1		20	35	32	10	15	113	1	

※ () は兼務の人数

職員の教育研修状況

単位：人

教育研修区分 年度	山口県消防学校								消防大学校					救急救命士研修					
	初任 総合 教育	専科教育			特別教育		幹部教育		大規模 災害 対策 科	専科教育					気管 挿管 認定 実習	薬剤 投与 追加 講習	処置 拡大 追加 講習	救急救 命士 新規 養成 研修	指導 救命 士 養成 研修
		救 助 科	火 災 調 査 科	予 防 査 察 科	消 防 団 指 導 科	水 難 救 助 科	初 級 幹 部 科	中 級 幹 部 科		上 級 幹 部 科	予 防 科	火 災 調 査 科	警 防 科	危 機 管 理 教 育 科					
平成 23年度	6	1	1	1		1		1			1			3					
平成 24年度	3	1	1	1		1		1						3			1		
平成 25年度	2	1	1	1			2	1		1				2			1		
平成 26年度	5	1	1	1		1		1			1			2		4	1		
平成 27年度	4	1	1	1		1	1	1						1		9	1		
平成 28年度	3	1	1	1		1		1	1	1				2		8	1		
平成 29年度	4	1	1	1	1	1	1	1						1		3		1	
平成 30年度	2	1	1	1	1	1		1	1					1			1		
令和 元年度	1	1	1	1	1	1	1	1					1					1	
令和 2年度	2	1	1														1		

消防音楽隊の概況

令和3年4月1日現在 単位：人

結 成	昭和57年6月18日				
隊員編成	隊 長	1	楽 長	1	
	副 隊 長	1	隊 員	22	
楽器編成	クラリネット	5	サクソ	5	ユーホニウム 1
	ホルン	3	トランペット	3	パーカッション 3
	トロンボーン	3	チューバ	1	
主な活動	消防出初式、県消防学校卒業式、各種の地域イベント など				

消防応援協定等状況

令和3年4月1日現在

協定等の名称	締結機関	締結年月日	協定概要
火災調査等にかかる消防相互応援協定	県内3市及び2消防組合	平成15年4月21日 (改正)	大規模災害時の火災調査等の相互応援
災害時における相互協力に関する覚書	光警察署	平成23年8月1日	庁舎使用、情報共有及び災害活動の相互協力
災害時における協力に関する協定	光市	平成24年2月1日	庁舎使用の協力
山口県内広域消防相互応援協定	県内19市町及び4消防組合	平成24年4月1日 (改正)	消防組織法第39条の規定に基づく相互応援
山口県消防防災ヘリコプター応援協定	県内19市町及び4消防組合	平成24年4月1日 (改正)	消防防災ヘリコプターによる応援
「母体・新生児救急搬送マニュアル」に係る救急業務相互応援協定	県内8市及び4消防組合	平成24年4月1日 (改正)	母体・新生児搬送等に係る相互応援
中国自動車道及び山陽自動車道における消防相互応援協定	県内10市及び3消防組合	平成24年4月1日 (改正)	中国自動車道及び山陽自動車道における相互応援
鉄道災害時の安全対策に関する覚書	県内12消防本部及び西日本旅客鉄道(株)	平成24年6月29日	鉄道災害時の安全対策等の相互協力
広島市及び光地区消防組合消防相互応援協定	広島市	平成29年8月28日	消防組織法第39条の規定に基づく相互応援
光地区消防組合と徳山海上保安部との業務協定	徳山海上保安部	令和2年3月1日 (改正)	船舶火災等における相互協力
災害時におけるレンタル資機材の供給に関する協定	光東株式会社	令和3年3月26日	レンタル資器材の供給協力



「災害時におけるレンタル資機材の供給に関する協定」調印式
(令和3年3月26日・於 消防本部)

予 防 編

火災予防業務

防火対象物数

令和3年4月1日現在 単位：棟

防火対象物の区分		市町	150㎡以上の防火対象物 (17項は150㎡未満を含む)				防火管理者を必要 とす防火対象物			
			光市	田布施町	周南市	合計	光市	田布施町	周南市	合計
1	イ	劇場等	1			1				
	ロ	公会堂等	41	9	11	61	41	8	12	61
2	イ	キャバレー等	3			3	3			3
	ロ	遊技場等	3		2	5	3		1	4
	ハ	性風俗特殊営業店舗等								
	ニ	カラオケボックス等	1			1	1			1
3	イ	料理店等								
	ロ	飲食店	22	5	4	31	27	5	3	35
4		百貨店等	83	16	11	110	54	11	9	74
5	イ	旅館等	9	3	5	17	5	1	4	10
	ロ	共同住宅等	464	73	24	561	37	3	4	44
6	イ	病院等	26	4	2	32	12	2		14
	ロ	特別養護老人ホーム等	30	8	12	50	27	5	10	42
	ハ	老人デイサービスセンター等	41	13	11	65	23	7	7	37
	ニ	幼稚園等	4	11	5	20	3	4	3	10
7		学校	72	27	20	119	19	6	6	31
8		図書館等	3	2	1	6	3	2		5
9	イ	特殊浴場		1		1		1		1
	ロ	一般浴場	1		1	2	1		1	2
10		停車場等	2	1		3				
11		神社・寺院等	49	37	10	96	11	9	4	24
12	イ	工場等	209	113	51	373	15	6	1	22
	ロ	スタジオ								
13	イ	駐車場等	13	4	5	22				
	ロ	航空機格納庫								
14		倉庫	160	82	30	272				
15		事務所等	281	68	42	391	29	8	4	41
16	イ	特定複合用途防火対象物	136	33	20	189	57	14	10	81
	ロ	非特定複合用途防火対象物	85	17	11	113	3			3
16の2		地下街								
17		文化財	3		1	4				
18		アーケード								
合 計			1,742	527	279	2,548	374	92	79	545

各種事務処理件数

令和2年4月1日～令和3年3月31日 単位：件

防火対象物の区分		同意・査察等		建築事務処理件数				査察実施件数				防火指導件数			
		市	町	光市	田布施町	周南市	合計	光市	田布施町	周南市	合計	光市	田布施町	周南市	合計
1	イ	劇場等													
	ロ	公会堂等			1	1	2			6	6			1	1
2	イ	キャバレー等													
	ロ	遊技場等								1	1				
	ハ	性風俗特殊営業店舗等													
	ニ	カラオケボックス等													
3	イ	料理店等													
	ロ	飲食店		1	1		2								
4		百貨店等		4	3		7			2	2				
5	イ	旅館等													
	ロ	共同住宅等		2			2								
6	イ	病院等		2			2								
	ロ	特別養護老人ホーム等		2	1		3	26			26				
	ハ	老人デイサービスセンター等		5			5	11		1	12				
	ニ	幼稚園等								2	2				
7		学校								9	9				
8		図書館等									1				1
9	イ	特殊浴場													
	ロ	一般浴場													
10		停車場等													
11		神社・寺院等				1	1								
12	イ	工場等		3	2	3	8								
	ロ	スタジオ													
13	イ	駐車場等		1		1	2			1	1				
	ロ	航空機格納庫													
14		倉庫		5	3	4	12								
15		事務所等		8	6	1	15								
16	イ	特定複合用途防火対象物						7		3	10				
	ロ	非特定複合用途防火対象物		2			2								
16の2		地下街													
17		文化財						2		1	3				
18		アーケード													
合計				35	17	11	63	46		26	72	1		1	2

中高層建物一覧

令和3年4月1日現在 単位：棟

防火対象物の区分		階数		4 階	5 階	6 階	7 階	8 階	9 階	10 階	11 階以上
		4 階	5 階	6 階	7 階	8 階	9 階	10 階	11 階以上		
1	イ	劇場等									
	ロ	公会堂等									
2	イ	キャバレー等									
	ロ	遊技場等									
	ハ	性風俗特殊営業店舗等									
	ニ	カラオケボックス等									
3	イ	料理店等									
	ロ	飲食店									
4		百貨店等									
5	イ	旅館等	2	2	1	1					
	ロ	共同住宅等	49	13	2	2				3	3
6	イ	病院等	3	2	1			1			
	ロ	特別養護老人ホーム等		1	1						
	ハ	老人デイサービスセンター等			1						
	ニ	幼稚園等	1								
7		学校	7	1							
8		図書館等									
9	イ	特殊浴場									
	ロ	一般浴場									
10		停車場等									
11		神社・寺院等	3	1				1			
12	イ	工場等	2	1	1	1					
	ロ	スタジオ									
13	イ	駐車場等									
	ロ	航空機格納庫									
14		倉庫									
15		事務所等	2	3	1						
16	イ	特定複合用途防火対象物	6	1	1						
	ロ	非特定複合用途防火対象物	2	1		1					
17		文化財									
合 計			77	26	9	5	2		3	3	
市	光 市		56	23	8	4	1		3	3	
	田布施町		11	3		1	1				
	周南市		10		1						
町	合 計		77	26	9	5	2		3	3	

危険物

施設数

令和3年4月1日現在 単位：施設

危険物の類	製造所等別	製造所	貯蔵所						取扱所		合計		
			屋内	屋外	屋外タンク	屋内タンク	地下タンク	簡易タンク	移動タンク	給油		一般	
第1類													
第2類													
第3類			1									1	
第4類	2		40	13	63	2	30	1	23	44	64	282	
第5類			2									2	
第6類													
混在	1		4								6	11	
合計		3	47	13	63	2	30	1	23	44	70	296	
市町	光市	第1類											
		第2類											
		第3類		1									1
		第4類	1	25	9	54		16		9	29	45	188
		第5類		1									1
		第6類											
		混在		1								6	7
		合計	1	28	9	54		16		9	29	51	197
	田布施町	第1類											
		第2類											
		第3類											
		第4類	1	12	4	6	1	12		14	9	17	76
		第5類		1									1
		第6類											
		混在	1	3									4
		合計	2	16	4	6	1	12		14	9	17	81
	周南市	第1類											
		第2類											
		第3類											
		第4類		3		3	1	2	1		6	2	18
		第5類											
第6類													
混在													
合計			3		3	1	2	1		6	2	18	

※「混在」とは、類を異にする危険物を貯蔵し、又は取扱っているものをいう。

事務処理件数

令和2年4月1日～令和3年3月31日 単位：件

区分		製造所等別	製造所	貯蔵所							取扱所		少量危険物	合計
				屋内	屋外	屋外タンク	屋内タンク	地下タンク	簡易タンク	移動タンク	給油	一般		
許可	設置 (変更)	光市		2 (3)		(1)				1 (1)	(2)	(28)		3 (35)
		田布施町	(1)			2		(1)		4	(1)	(1)		6 (4)
		周南市									(2)			(2)
		合計	(1)	2 (3)		2 (1)		(1)		5 (1)	(5)	(29)		9 (41)
完成	設置 (変更)	光市		2 (2)		4 (2)				1 (2)	(1)	(27)		7 (34)
		田布施町	(1)			2 (1)		(1)		4	(1)	(3)		6 (7)
		周南市									(2)			(2)
		合計	(1)	2 (2)		6 (3)		(1)		5 (2)	(4)	(30)		13 (43)
仮 使用 承認		光市		3		1					2	27		33
		田布施町	1					1			1	3		6
		周南市									2			2
		合計	1	3		1		1			5	30		41
完 成 検 査 前 検 査	水 張	光市												
		田布施町	2			3						4		9
		周南市												
		合計	2			3						4		9
	水 圧	光市												
		田布施町	3											3
		周南市												
		合計	3											3
廃 止		光市								1	1	1		3
		田布施町		1							1			2
		周南市												
		合計		1						1	2	1		5

※ () は変更件数

仮貯蔵・仮取扱い承認件数

令和2年4月1日～令和3年3月31日 単位：件

市町	区分	仮貯蔵	仮取扱い	合計
光市			12	12
田布施町				
周南市				
合計			12	12

立入検査状況

令和2年4月1日～令和3年3月31日 単位：施設

市町	製造所等別	製造所	貯蔵所						取扱所		合計	
			屋内	屋外	屋外タンク	屋内タンク	地下タンク	簡易タンク	移動タンク	給油		一般
光市							3		1			4
田布施町		2	16	4	4	1	9				16	52
周南市			3		3	1	2	1		6	2	18
合計		3	19	4	7	2	14	1	1	6	18	74

各種届出状況

令和2年4月1日～令和3年3月31日 単位：件

区分	市町	光市	田布施町	周南市	合計
品名数量倍数変更届		11	6		17
危険物保安監督者選解任届		19	6	1	26
予防規程認可申請		6		2	8
名称等変更届		3	1	1	5
設備変更届		91	23	1	115
製造所休止届			1		1
事故発生届			1		1

その他

条例等に基づく各種届出・査察状況

令和2年4月1日～令和3年3月31日 単位：件

種別	届出・査察 市町	届 出				査 察			
		光 市	田布施町	周南市	合 計	光 市	田布施町	周南市	合 計
圧縮	圧縮アセチレンガス								
	液化石油ガス	13	3	2	18	11	1	2	14
アガ	生 石 灰								
セス	毒 物	7			7				
チ等	劇 物	1			1				
指 定 可 燃 物 等	可燃性固体類								
	石灰・木炭等								
	可燃性液体類	2			2				
	合成樹脂類								
	そ の 他							2	2
少危 険 量物	施 設	22	1		23	5	1		6
	移 動 タ ン ク	1	1	2	4		1		1
	炉	1			1	1			1
	温 風 暖 房 機								
	ボ イ ラ ー	1	4	1	6	1	4	1	6
	給 湯 湯 沸 設 備	1		2	3	1		2	3
	乾 燥 設 備		1		1				
	サ ウ ナ 設 備								
	変 電 設 備	13	7	4	24	4	7	4	15
	発 電 設 備	3	3		6	2	3		5
	蓄 電 設 備	11	2	1	14	4		1	5
	ネ オ ン 管 灯 設 備								
	厨 房 設 備								

少年消防クラブ

令和3年4月1日現在 設立順

市 町	団 体 名	設 立	クラブ員数
光 市	塩田小学校少年消防クラブ	昭和56年6月4日	8人
光 市	東荷小学校少年消防クラブ	昭和56年6月21日	8人

幼年消防クラブ

令和3年4月1日現在 設立順

市 町	団 体 名	設 立	クラブ員数
周南市	明照幼稚園幼年消防クラブ	昭和60年5月1日	21人
光 市	虹ヶ丘幼児学園幼年消防クラブ	昭和60年11月26日	121人
周南市	ひまわり保育園幼年消防クラブ	昭和61年12月7日	53人
田布施町	たぶせ保育園幼年消防クラブ	昭和62年11月24日	136人
周南市	大河内幼稚園幼年消防クラブ	昭和63年5月29日	115人
光 市	東荷幼稚園幼年消防クラブ	平成2年4月10日	7人
光 市	野原保育園幼年消防クラブ	平成3年11月25日	40人
光 市	三輪幼稚園幼年消防クラブ	平成4年4月1日	23人

婦人防火クラブ

令和3年4月1日現在

市 町	団 体 名	設 立	クラブ員数
周南市	明照婦人防火クラブ	平成7年2月1日	33人

その他の団体

令和3年4月1日現在 設立順

団 体 名	設 立	加盟数
光地区防災協会	昭和50年5月21日	257事業所
光地区防火委員会	平成2年4月1日	11団体

消 防 編

火 災

令和2年中の火災件数は31件で、前年と比較すると4件減少しています。火災種別でみると、建物火災11件（2件増）、林野火災3件（3件減）、車両火災なし（1件減）、その他の火災17件（2件減）となっています。

なお、火災損害額については全体で4,604万円4千円、このうち建物火災によるものが4,572万5千円で、全体の約99%を占めています。

火災概要（1）

火災件数等 区分		火災件数（件）					焼損棟数（棟）					焼損面積		
		建 物	林 野	車 両	船 舶	そ の 他	合 計	全 焼	半 焼	部 分 焼	ぼ や	合 計	建物床 (㎡)	林野 (a)
月	1月	1					1							
	2月	1				2	3		1			1	56	
	3月	2				2	4	1		1		2	78	
	4月	2	1			4	7	2			3	5	134	1
	5月					1	1	1				1	15	
	6月	1				1	2	1		1		2	196	
	7月	1					1	1				1	15	
	8月		2			1	3							2
	9月					1	1							
	10月					3	3							
	11月	1					1	2				2	22	
	12月	2				2	4	2		2	2	6	139	
	合 計	11	3			17	31	10	1	4	5	20	655	3
市 町	光 市	8	2			9	19	7		3	5	15	373	1
	田布施町	2				3	5	1	1	1		3	252	
	周南市	1	1			5	7	2				2	30	2
	合 計	11	3			17	31	10	1	4	5	20	655	3
年	平成27年	14	2	1	1	12	30	7	2	8	10	27	873	44
	平成28年	13	1	4		6	24	4	1	5	7	17	941	5
	平成29年	7	1	2		6	16	2	2	1	3	8	139	7
	平成30年	8	8	2		11	29	2	1	5	2	10	124	19
	令和元年 (平成31年)	9	6	1		19	35	4	2	3	5	14	407	55

火災概要（２）

令和２年中

区分	死傷者等	死者(人)	負傷者(人)	り災人員(人)	り災世帯数(世帯)				損害額(千円)					
					全損	半損	小損	合計	建物	林野	車両	船舶	その他	合計
月	1月		2	2			1	1	728					728
	2月			2		1		1	15,313				32	15,345
	3月			1	1			1	8,069					8,069
	4月			17	1		5	6	6,067					6,067
	5月													
	6月			3			1	1	5,249				3	5,252
	7月		1						489					489
	8月									284				284
	9月		1											
	10月													
	11月								162					162
	12月	1		12	1		3	4	9,648					9,648
合計	1	4	37	3	1	10	14	45,725	284			35	46,044	
市町	光市	1	3	32	3		9	12	24,674				35	24,709
	田布施町			5		1	1	2	20,562					20,562
	周南市		1						489	284				773
	合計	1	4	37	3	1	10	14	45,725	284			35	46,044
	平成27年		4	43	7	2	13	22	109,815	665	600	979	66	112,125
	平成28年	2	5	31	2	1	8	11	31,548		924			32,472
	平成29年		3	12	1	1	3	5	19,826		562			20,388
	平成30年	1	1	23		1	7	8	11,554		920		30	12,504
令和元年 (平成31年)	2	3	19	4		6	10	64,851		271		18	65,140	

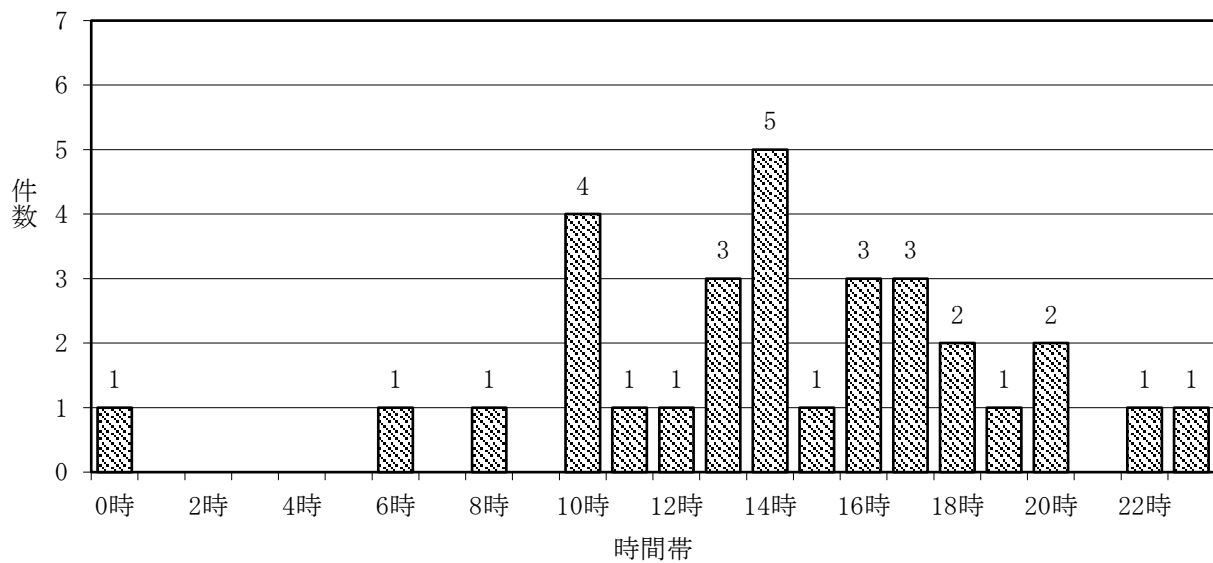
出火原因別火災件数

令和2年中 単位：件

出火原因 \ 火災種別	建 物	林 野	その他	合 計
たばこ	1			1
こんろ	1			1
風呂かまど	2			2
電気機器	1		2	3
配線器具			1	1
たき火	1	2	9	12
火入れ				
その他	2	1	3	6
不明	3		2	5
合 計	11	3	17	31

時間別火災発生状況

令和2年中



救 急

令和2年中の救急出動件数は3,725件(対前年比311件減、7.7%減)、救急搬送人員数は3,472人(対前年比195人減、5.3%減)となっております。救急出動件数は平成29年以降、4千件を超える状況が継続していましたが3年ぶりに4千件を下回りました。

救急搬送人員のうち最も多い事故種別は、急病2,176人(62.7%)、傷病程度別では入院を必要としない軽傷が最も多く1,775人(51.1%)、年齢区分別では高齢者が2,510人(72.3%)とそれぞれ突出している状況です。

出動件数

令和2年中 単位：件

区分	種別	火災	自然災害	水難	交通事故	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	その他				合計
												転搬院送	医搬師送	資等機輸材送	その他	
曜日	月				31	7	2	86		4	359	66			2	557
	火				30	11	2	89		4	321	71			2	530
	水	3			29	12	2	105		2	328	63				544
	木	2			28	13		93	2	3	336	52			2	531
	金				32	4	1	93		8	326	92			1	557
	土				33	5	3	84		2	339	41			2	509
	日	1		1	26	3	5	73	1	2	358	27				497
	合計	6		1	209	55	15	623	3	25	2,367	412			9	3,725
月	1月	1			9	2		52		1	229	39			1	334
	2月	1			17	5	3	41		1	203	35			2	308
	3月				25	3	1	53			185	37			1	305
	4月				5			49		3	170	34				261
	5月			1	15	5		53		2	172	29			1	278
	6月				19	5	2	39		1	186	29			1	282
	7月	2			10	8	1	40	1	4	203	22			1	292
	8月				27	10	1	61	1	2	228	40			1	371
	9月	1			25	7	2	68		2	206	32				343
	10月				19	3	2	55		4	208	33				324
	11月				16	2		56		3	154	35				266
	12月	1			22	5	3	56	1	2	223	47			1	361
合計	6		1	209	55	15	623	3	25	2,367	412			9	3,725	
市町	光市	3		1	118	44	12	388	2	14	1,536	380			6	2,504
	田布施町	2			39	5	1	110		3	401	14			2	577
	周南市	1			49	6	2	125	1	8	429	18			1	640
	管轄外				3						1					4
	合計	6		1	209	55	15	623	3	25	2,367	412			9	3,725
消防署	中央	4		1	110	37	11	344	1	12	1,350	323			7	2,200
	東	1			44	7	2	147		4	551	69			1	826
	北	1			55	11	2	132	2	9	466	20			1	699
	合計	6		1	209	55	15	623	3	25	2,367	412			9	3,725
年	平成27年	2		2	261	33	20	564	7	24	2,443	404			33	3,793
	平成28年	5		2	306	39	25	597	5	17	2,457	436			37	3,926
	平成29年	3			284	59	30	586	6	18	2,573	437			25	4,021
	平成30年	3	4	2	213	69	32	557	9	18	2,699	455			13	4,094
	令和元年	4		4	220	59	32	616	11	19	2,682	380			9	4,036

搬送人員数

令和2年中 単位：人

区分		種別	火災	自然災害	水難	交通事故	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	その他	合計
曜日	月				31	7	2	83			1	322	66	512
	火				28	11	2	82			3	294	71	491
	水	4			34	12	2	96				301	63	512
	木				28	13		87	2		1	320	52	503
	金				28	4	1	85			6	297	92	513
	土				34	5	3	82			2	315	41	482
	日	1		1	24	3	5	68	1		2	327	27	459
	合計		5		1	207	55	15	583	3	15	2,176	412	3,472
月	1月		2		6	2		50			1	221	39	321
	2月				17	5	3	36				184	35	280
	3月				32	3	1	50				170	37	293
	4月				5			46			2	158	34	245
	5月			1	14	5		52			2	161	29	264
	6月				20	5	2	33				170	29	259
	7月	2			10	8	1	37	1		3	192	22	276
	8月				25	10	1	59	1		1	211	40	348
	9月	1			28	7	2	65				185	32	320
	10月				13	3	2	48			2	187	33	288
	11月				18	2		56			2	135	35	248
	12月				19	5	3	51	1		2	202	47	330
	合計		5		1	207	55	15	583	3	15	2,176	412	3,472
市町	光市		3		1	115	44	12	360	2	9	1,416	380	2,342
	田布施町		1			38	5	1	104		2	369	14	534
	周南市		1			52	6	2	119	1	4	390	18	593
	管轄外					2						1		3
	合計		5		1	207	55	15	583	3	15	2,176	412	3,472
消防署	中央		3		1	114	37	11	316	1	7	1,245	323	2,058
	東		1			36	7	2	142		3	504	69	764
	北		1			57	11	2	125	2	5	427	20	650
	合計		5		1	207	55	15	583	3	15	2,176	412	3,472
年	平成27年		2			263	33	20	534	5	16	2,278	400	3,551
	平成28年		3		2	309	38	25	554	4	8	2,254	437	3,634
	平成29年		2			263	56	30	562	5	12	2,392	435	3,757
	平成30年			5	1	205	66	32	539	4	11	2,471	456	3,790
	令和元年		2		2	219	56	32	570	7	11	2,388	380	3,667

事故種別年齢区分別傷病程度別搬送人員数

令和2年中 単位：人

年齢区分 ・程度	種別	火	自然	水	交	労	運	一	加	自	急	そ	合
		災	災	難	通	働	動	般	害	損	病	の	計
		災	害	難	事	災	競	負		行		他	
新生児	死 亡												
	重 症											3	3
	中等症											7	7
	軽 症							1			1		2
	その他												
	計							1			1	10	12
乳幼児	死 亡												
	重 症							1					1
	中等症							1			7	1	9
	軽 症				2		1	15			39		57
	その他												
	計				2		1	17			46	1	67
少年	死 亡												
	重 症												
	中等症				2		3	1			9	4	19
	軽 症				17		9	14			47		87
	その他												
	計				19		12	15			56	4	106
成人	死 亡			1	1					2	5		9
	重 症	1			4	1		2			14	6	28
	中等症	1			12	12		21		3	122	94	265
	軽 症				98	33	2	46	3	5	281	7	475
	その他												
	計	2		1	115	46	2	69	3	10	422	107	777
高齢者	死 亡							2		3	53		58
	重 症				4			15			81	27	127
	中等症	2			13	2		194		2	701	257	1,171
	軽 症	1			54	7		270			816	6	1,154
	その他												
	計	3			71	9		481		5	1,651	290	2,510
合 計	死 亡			1	1			2		5	58		67
	重 症	1			8	1		18			95	36	159
	中等症	3			27	14	3	217		5	839	363	1,471
	軽 症	1			171	40	12	346	3	5	1,184	13	1,775
	その他												
	計	5		1	207	55	15	583	3	15	2,176	412	3,472

※傷病程度は、次のとおり。(以下同じ。)

- 1 死 亡：初診時において死亡が確認されたもの。
- 2 重 症：傷病程度が3週間以上の入院加療を必要とするもの。
- 3 中等症：傷病程度が重症または軽症以外のもの。
- 4 軽 症：傷病程度が入院加療を必要としないもの。
- 5 その他：医師の診断がないもの及び傷病程度が判明しないもの。なお、傷病程度は入院加療の必要程度を基準に区分しているため、骨折等で入院の必要はないが、通院による治療が必要な者は軽症として分類されている。

※年齢区分は、次のとおり。(以下同じ。)

- 1 新生児：生後28日未満の者
- 2 乳幼児：生後28日以上満7歳未満の者
- 3 少年：満7歳以上満18歳未満の者
- 4 成人：満18歳以上満65歳未満の者
- 5 高齢者：満65歳以上の者

救急隊員の行った応急処置（１）

令和２年中の搬送人員数 3,472 人のうち、3,461 人に対して救急隊が応急処置を実施しました。

令和２年中 単位：人

種別・程度		応急処置項目										
		対象者数	止血	固定	人工呼吸	胸骨圧迫	心肺蘇生	酸素吸入	気道確保	保温	被覆	除細動
急病	死亡	58		1	2		57	57	57			5
	重症	95		1	7	1	28	71	38			7
	中等症	838	1	4	1			275	22	12	4	
	軽症	1,179	12	2				63	3	14	11	
	その他											
	計	2,170	13	8	10	1	85	466	120	26	15	12
交通事故	死亡	1		1			1	1	1			
	重症	8		7			2	5	2	1		
	中等症	27	7	21				6		1	10	
	軽症	170	6	52				1		1	30	
	その他											
	計	206	13	81			3	13	3	3	40	
一般負傷	死亡	2					2	2	2			
	重症	18	2	1			3	6	3	1	2	
	中等症	217	15	19				14	1	10	27	
	軽症	344	42	10				4	1	5	102	
	その他											
	計	581	59	30			5	26	7	16	131	
上記以外	死亡	6					6	4	6			
	重症	38	1		2		3	23	7	2	1	1
	中等症	386	7	8	2			112	6	1	9	
	軽症	74	6	3				1		1	21	
	その他											
	計	504	14	11	4		9	140	19	4	31	1
合計	死亡	67		2	2		66	64	66			5
	重症	159	3	9	9	1	36	105	50	4	3	8
	中等症	1,468	30	52	3			407	29	24	50	
	軽症	1,767	66	67				69	4	21	164	
	その他											
	計	3,461	99	130	14	1	102	645	149	49	217	13

救急隊員の行った応急処置（２）

令和２年中 単位：人

種別・程度	応急処置項目	薬剤投与	血圧測定	聴診	血中酸素濃度測定	心電図	静脈路確保		血糖測定	ブドウ糖投与	左記以外	全応急処置合計
							心停止前	心停止後				
急病	死亡	8	3	21	4	50		13			56	334
	重症	8	73	50	71	86	2	10	5		79	537
	中等症		834	380	832	674	9		47	7	490	3,592
	軽症		1,151	390	1,173	747	6		18	7	709	4,306
	その他											
	計	16	2,061	841	2,080	1,557	17	23	70	14	1,334	8,769
交通事故	死亡			1		1					1	7
	重症		6	6	6	7					7	49
	中等症		27	18	27	12					21	150
	軽症		165	66	169	26					112	628
	その他											
	計		198	91	202	46					141	834
一般負傷	死亡		1	1		2					2	12
	重症		15	6	15	9					12	75
	中等症		216	28	214	60			3		111	718
	軽症		335	40	342	79			1		228	1,189
	その他											
	計		567	75	571	150			4		353	1,994
上記以外	死亡			1		5					6	28
	重症		34	5	37	23			1		14	154
	中等症		378	84	386	169	1				113	1,276
	軽症		74	9	74	17					36	242
	その他											
	計		486	99	497	214	1		1		169	1,700
合計	死亡	8	4	24	4	58		13			65	381
	重症	8	128	67	129	125	2	10	6		112	815
	中等症		1,455	510	1,459	915	10		50	7	735	5,736
	軽症		1,725	505	1,758	869	6		19	7	1,085	6,365
	その他											
	計	16	3,312	1,106	3,350	1,967	18	23	75	14	1,997	13,297

ドクターヘリ要請件数

令和２年中の救急出動のうち、ドクターヘリの出動を要請した件数は５件で、そのうち、ドクターヘリにより医療機関へ搬送された傷病者は５人でした。

年・区分	発生場所			合計	
	光市	田布施町	周南市		
平成30年	要請件数(件)	7	2	2	11
	搬送人員数(人)	4		1	5
令和元年 (平成31年)	要請件数(件)	3	2	1	6
	搬送人員数(人)	2	2	1	5
令和2年	要請件数(件)	4	1		5
	搬送人員数(人)	4	1		5

応急手当の普及啓発活動実施状況

令和2年中は、普通救命講習 90 人、簡易救急講習 219 人の計 309 人に対して応急手当に関する講習を行いました。

救急資機材配備状況（主たる資機材）

令和3年4月1日現在 単位：式

資機材名	中央消防署			合計
	本 署	東出張所	北出張所	
自動体外式除細動器(AED)	4	2	2	8
患者監視装置	3	1	1	5
自動式人工呼吸器	3	1	1	5
自動式胸骨圧迫器	2	1	1	4
携帯吸引器	3	1	1	5
携帯用血圧計	5	2	2	9
携帯用血中酸素飽和度測定器	3	1	1	5
携帯用呼気二酸化炭素測定器具	3	1	1	5
バックボード	6	2	2	10
スクープストレッチャー	4	1	1	6

救 助

令和2年中の救助出動件数は43件で、前年と比較すると3件増加しました。

救助事故種別では、交通事故による出動が例年と同様に最も多く、次いでその他の事故（転落事故等）となっています。

事故種別出動件数

令和2年中 単位：件

市町・年		種別	火災	交通 事故	水難 事故	自然災 害事故	機械 事故	建築物 等によ る事故	ガス及 び酸欠 事 故	破裂 事故	その他	合 計
市 町	光 市			16	1		1	1			6	25
	田布施町			6							1	7
	周南市			8					1		1	10
	管轄外			1								1
	合 計			31	1		1	1	1		8	43
年	平成27年			20	2		1				6	29
	平成28年			33		1	2				12	48
	平成29年			29			2	1			8	40
	平成30年			20	1	11	1			1	5	39
	平成元年			23	4		5				8	40

特殊器具配置状況

令和3年4月1日現在 単位：式

器 具		消防本部	中央消防署			合 計
			本 署	東出張所	北出張所	
一 般 救 助 器 具	カギ付はしご		4	1	1	6
	金属性折りたたみはしご		1			1
	救命索発射銃		1			1
	平担架		2			2
	三連梯子		5	1	1	7
	空気式救助マット		1			1
	サバイバースリング・救助用縛帯		5	1	1	7
重 量 物 排 除 用 器 具	油圧ジャッキ		2	1		3
	可搬式ウインチ		3	1	1	5
	大型油圧スプレッダー		1	1	1	3
	油圧スプレッダー		2			2
	マンホール救助器具		1			1
	マット型空気ジャッキ		1			1
切 断 用 器 具	大型油圧切断機		1	1	1	3
	油圧切断機		2			2
	ガス溶断器		1			1
	鉄線カッター		6	1	1	8
	エンジンカッター		2	1	1	4

器 具		消防本部	中央消防署			合 計
			本 署	東出張所	北出張所	
切器 断具 用	チェーンソー		2	1	2	5
	空気鋸		1		1	2
	空気切断機		2	1	1	4
破 壊 用 器 具	万能斧		8	3	4	15
	携帯用コンクリート破壊器具		1	1		2
	ハンマドリル		1			1
	ハンマー		4	2		6
	削岩機		1			1
測 定 器	有毒ガス測定器		5	1	2	8
	放射線測定器		9			9
	可燃性ガス測定器		3	1		4
	酸素濃度測定器		5	1		6
隊 員 保 護 用 器 具	耐電手袋		19	5	5	29
	耐電ズボン		5			5
	防塵メガネ		3		3	6
	防毒マスク		19	3	3	25
	陽圧式化学防護服		12	6	6	24
	放射線防護服		3			3
	耐電衣		5			5
	耐電長靴		5			5
	携帯警報器		8			8
	化学防護服（陽圧式化学防護服を除く）		10	8	3	21
	耐熱服		4	1	1	6
呼 用 吸 器 保 具 護	空気呼吸器		27	5	5	37
	酸素呼吸器		7		1	8
	防塵マスク		45	10	8	63
	送排風器		1			1
水 難 救 助 用 器 具	潜水器具		10			10
	水中投光器		5			5
	浮標		1			1
	船外機		2			2
	水中テレビカメラ		1			1
	救命胴衣		25	8	8	41
	救命浮環		4	1	1	6
	救助用ボート		2			2
そ の 他 の 器 具	登山器具		1			1
	ロープ登降機		4			4
	バスケット型担架		5	1	1	7
	簡易画像探索器		1			1
	熱画像直視装置		2			2
	水中探索装置		1			1

器 具		消防本部	中央消防署			合 計
			本 署	東出張所	北出張所	
そ の 他 の 器 具	投光器		11	3	3	17
	携帯拡声器		14	2	2	18
	発電機	1	7	3	2	13
	応急処置用セット		1	1	1	3
	救助用降下器		1			1
	携帯用投光器	3	24		8	35
	携帯無線機 (デジタル)		7	3	3	13
	携帯無線機 (アナログ)		21	8	8	37

ホース保有状況

令和3年4月1日現在 単位：本

ホース径	署	中央消防署			合 計
		本 署	東出張所	北出張所	
65mm		147	74	74	295
50mm		120	50	50	220
合 計		267	124	124	515

消火薬剤備蓄状況

令和3年4月1日現在 単位：リットル

保管先	薬剤の区分		蛋白泡 (3%)	水成膜泡	合成界面 活性剤	水溶性液体用泡		合 計
	中 央 消 防 署	本 署 東出張所 北出張所				AGF-T	F-610AT	
周 保 南 有 備 蓄 会 分			中 央 消 防 署	本 署		522		1,300
	東出張所				380			380
	北出張所				340			340
	武田薬品(株)				4,640			4,640
	計			522	5,360	1,300	740	7,922
中央消防署			280					280
合 計			280	522	5,360	1,300	740	8,202

車両の配備

令和3年4月1日現在 単位：台

車両区分	配備先	消 防 本 部	中央消防署			合 計
			本 署	東出張所	北出張所	
消防ポンプ自動車			1	1	1	3
水槽付消防ポンプ自動車			2	1	1	4
屈折はしご自動車			1			1
化学消防車			1			1
救助工作車			1			1
高規格救急自動車			3	1	1	5
資機材搬送車		1				1
指揮車			1			1
広報車		1	1	1	1	4
上記以外の車両		3	2			5
合 計		5	13	4	4	27

※水槽付消防ポンプ自動車・高規格救急自動車は、非常用車両を含む。

車両の配備（詳細）

令和3年4月1日現在

配備先	車両呼称	区 分	車 両 メーカー	ポンプ 能 力	備 考	
消防本部	光 11	資機材搬送車	いすゞ自動車			
	光 13	広報車	スズキ自動車			
		乗用車（サンバー）	スバル			
		乗用車（ノア）	トヨタ自動車			
		乗用車（セレナ）	日産自動車			
中央消防署	本 署	光 1	小型動力ポンプ積載車	ダイハツ	B-3 級	
		光 2	消防ポンプ自動車	日野自動車	A-1 級	
		光 3	水槽付消防ポンプ自動車	三菱ふそう	A-2 級	積載水量 1,500ℓ 非常用車両
		光 4	屈折はしご自動車	三菱ふそう		25m 級
		光 6	化学消防車	三菱ふそう	A-2 級	積載水量 1,300ℓ 積載薬液量 600ℓ
		光 7	救助工作車	日野自動車		
		光 8	水槽付消防ポンプ自動車	三菱ふそう	A-1 級	積載水量 1,700ℓ
		光 14	広報車	トヨタ自動車		
		光 15	指揮車	トヨタ自動車		
		光救急 5	高規格救急自動車	トヨタ自動車		
		光救急 3	高規格救急自動車	トヨタ自動車		
		光救急 1	高規格救急自動車	トヨタ自動車		非常用車両
			ボートトレーラー			光 15 にて牽引
	東 出 張 所	光東 1	消防ポンプ自動車	日野自動車	A-2 級	積載水量 600ℓ
		光東 2	水槽付消防ポンプ自動車	日野自動車	B-2 級	積載水量 1,200ℓ
		光東 21	広報車	トヨタ自動車		
		光救急 4	高規格救急自動車	トヨタ自動車		
	北 出 張 所	光北 1	消防ポンプ自動車	日野自動車	A-2 級	
		光北 2	水槽付消防ポンプ自動車	日野自動車	A-1 級	積載水量 1,500ℓ
		光北 31	広報車	トヨタ自動車		
光救急 2		高規格救急自動車	トヨタ自動車			

市町別公設水利設置状況

令和3年4月1日現在

市町	水利区分	消火栓			防火水槽				その他	合計
		地上	地下	合計	100t以上	40 t以上	40 t未満	合計	井戸・プール	
光市	浅江	2	207	209	2	19		21		230
	三井		53	53		13		13		66
	上・中島田		50	50		7		7		57
	島田		64	64	1	2		3	1	68
	光井		142	142	2	10		12		154
	室積		156	156	1	11		12		168
	牛島			0		1		1		1
	小周防・立野		49	49		12		12		61
	岩田	2	39	41		9	3	12		53
	三輪	3	35	38		8	2	10		48
	塩田		2	2		9	2	11		13
	束荷		5	5		11	4	15		20
	計	7	802	809	6	112	11	129	1	939
田布施町	上田布施		3	3		9	4	13		16
	下田布施		51	51		11	1	12	1	64
	宿井		11	11		7	4	11		22
	川西		7	7		5	1	6		13
	中央南		9	9						9
	波野	1	39	40		12	3	15		55
	大波野		6	6		6	8	14		20
	麻郷	1	85	86		10	9	19	1	106
	麻郷奥		12	12		3	1	4		16
	別府		5	5		4	1	5		10
	馬島			0		1		1		1
計	2	228	230		68	32	100	2	332	
周南市	大河内		44	44		14	3	17		61
	中村		10	10		3		3		13
	呼坂		48	48		23	13	36		84
	安田		20	20		9	2	11		31
	原		7	7		5	3	8		15
	樋口		8	8		5	3	8		16
	清尾		4	4			1	1		5
	小松原		9	9		4	9	13		22
	奥関屋			0		2		2		2
	八代			0		9	12	21		21
計		150	150		74	46	120		270	
合計	9	1,180	1,189	6	254	89	349	3	1,541	

通信指令編

119番通報受信状況

令和2年中 単位：回

通報区分 年・月別	火 災	救 急	救 助	その 他の 災害等	いた ずら	テ ス ト	通 報 訓 練	誤 報	医療 機 関 問 合 せ	そ の 他	合 計
平成28年	30 (16)	3,776 (1,024)	47 (17)	37 (11)	44 (8)	220 (9)	300 (3)	328 (92)	223 (88)	448 (211)	5,453 (1,479)
平成29年	32 (10)	3,885 (989)	44 (11)	70 (11)	14 (3)	595 (94)	343 (11)	237 (89)	156 (88)	690 (158)	6,066 (1,464)
平成30年	47 (18)	4,034 (1,071)	38 (10)	73 (9)	9 (7)	350 (23)	326 (11)	285 (133)	150 (71)	749 (241)	6,061 (1,594)
平成31年 令和元年	35 (21)	3,922 (1,274)	29 (14)	40 (12)	10 (5)	220 (21)	318 (11)	251 (127)	118 (63)	568 (239)	5,511 (1,787)
令和2年 1月	0 (0)	331 (104)	3 (1)	7 (3)	1 (1)	0 (0)	0 (0)	28 (15)	0 (0)	70 (37)	440 (161)
2月	3 (2)	271 (97)	5 (3)	2 (1)	1 (0)	11 (0)	14 (1)	17 (10)	3 (1)	45 (24)	372 (139)
3月	4 (4)	276 (77)	7 (6)	5 (1)	0 (0)	14 (1)	18 (0)	15 (6)	4 (3)	46 (19)	389 (117)
4月	6 (2)	214 (68)	3 (2)	1 (0)	0 (0)	8 (0)	14 (0)	7 (5)	6 (4)	35 (17)	294 (98)
5月	2 (1)	274 (106)	4 (0)	5 (3)	0 (0)	12 (0)	15 (2)	17 (13)	6 (5)	50 (29)	385 (159)
6月	2 (0)	278 (84)	3 (1)	5 (3)	0 (0)	15 (0)	26 (0)	16 (6)	2 (1)	40 (20)	387 (115)
7月	2 (2)	281 (94)	1 (1)	5 (0)	4 (4)	14 (0)	19 (1)	10 (5)	7 (4)	34 (17)	377 (128)
8月	3 (1)	354 (128)	2 (2)	2 (2)	0 (0)	11 (0)	8 (0)	28 (17)	10 (5)	53 (22)	471 (177)
9月	0 (0)	337 (120)	2 (1)	3 (2)	0 (0)	12 (0)	16 (0)	21 (14)	2 (1)	59 (31)	452 (169)
10月	2 (0)	318 (121)	2 (1)	7 (5)	5 (5)	21 (0)	32 (0)	22 (13)	3 (2)	56 (19)	468 (166)
11月	1 (1)	262 (86)	1 (0)	1 (1)	0 (0)	11 (0)	39 (3)	24 (15)	8 (4)	53 (14)	400 (124)
12月	3 (3)	353 (106)	3 (1)	10 (6)	0 (0)	21 (0)	34 (2)	28 (14)	7 (3)	72 (16)	531 (151)
合計	28 (16)	3,549 (1,191)	36 (19)	53 (27)	11 (10)	150 (1)	235 (9)	233 (133)	58 (33)	613 (265)	4,966 (1,704)

※（ ）は携帯電話からの119番通報

有線通信施設

令和3年4月1日現在

施設		区分	回線名称	回線数	備考
中央消防署	本署	加電入話	一般電話回線	5	ISDN (4回線8チャンネル9ダイヤル) アナログ (1回線1チャンネル)
			順次指令回線	3	ISDN (3回線6チャンネル)
			災害状況自動案内回線	1	ISDN (1回線2チャンネル)
			救急医療情報システム回線	1	山口県
			携帯電話	5	中央署1回線・警防課1回線・救急車3回線
		専用線	警察専用回線	1	
			光市役所回線(専用)	2	庁内電話
			西日本高速道路株式会社専用回線	1	
			デジタル無線V-LAN回線	1	NTT ビジネスユーザー(消防本部-赤松ヶ平)
			統合型発信地回線	2	DA64 (A面、B面)
			指令回線専用線	1	光ファイバー(エネルギーコミュニケーション) 庁内WEB、庁内内線、OA兼用
			FOMA用専用線	1	車両運用端末装置通信用
			インターネット接続回線	2	光ファイバー(画像伝送、情報共有端末、OAメンテナンス)
			E-mail 119 E-mail 指令回線	1	光ファイバー
		NET119専用回線	1	光ファイバー	
	消防用通話	119番受付回線	2	ISDN (2回線4チャンネル18ダイヤル)	
		ヘルプネット受付回線	1	ISDN (1回線2チャンネル2ダイヤル)	
		衛星回線	1	アナログ (119番受付回線予備)	
		携帯電話119番受付回線	2	ISDN (2回線4チャンネル6ダイヤル)	
		携帯電話119番転送回線	1	ISDN (1回線2チャンネル2ダイヤル)	
	東出張所	加電入話	一般電話回線	1	ISDN (1回線2チャンネル)
			FAX回線	1	ISDN (1回線1チャンネル)
			携帯電話	2	救急車1回線・署1回線
		専用線	衛星電話	1	アナログ (119番受付回線予備)
			指令回線専用線	1	光ファイバー(エネルギーコミュニケーション) 庁内WEB、庁内内線、OA兼用
	北出張所	加電入話	一般電話回線	1	ISDN (1回線2チャンネル)
			FAX回線	1	ISDN (1回線1チャンネル)
			携帯電話	2	救急車1回線・署1回線
		専用線	衛星電話	1	アナログ (119番受付回線予備)
			指令回線専用線	1	光ファイバー(エネルギーコミュニケーション) 庁内WEB、庁内内線、OA兼用

防災センター

役割

防災への関心は平穏な暮らしの中で薄れがちであり、災害に対する備えは十分とはいえないのが現状です。あんしんねっと光は、過去の災害の教訓を踏まえて、「知ることは生きること」という意識の確立を目的に、一人でも多くの人の防災意識を高めることを目標として平成15年4月にオープンしました。

光地区消防組合の管内・管外を問わず、子供から大人まで住民の誰もが気軽に利用できるよう、地域コミュニティの役割と防災全般について知識を習得できる防災学習を実施しています。

延べ利用者数

平成15年4月から令和2年12月までに、防災センターを利用された方は86,228人です。

月別利用状況

令和2年中 単位：人

区分	月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
個人		4												4
団体			51											51
合計		4	51											55
市町別	光市	4	35											39
	田布施町													
	熊毛地域													
	管轄外		16											16
	合計	4	51											55
年齢区分別	幼児	1	31											32
	小・中学生													
	高校生以上	2	20											22
	65歳以上	1												1
	合計	4	51											55
年別	平成28年	19	51	36	61	559	237	176	158	53	4,451	244	129	6,174
	平成29年	1	48	38	40	352	299	102	113	83	1,965	284	111	3,436
	平成30年	21	45	7	59	252	275	57	382	151	5,543	342	102	7,236
	平成31年	35	55	96	68	184	440	159	135	53	1,188	408	55	2,876
	令和2年	4	51											55

利用団体内訳

令和2年中 単位：人

団体区分	幼稚園 保育園	小中学校	官公庁	企業	その他	合計
利用者数	35				16	51

※新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、令和2年3月4日以降は休館



令和3年12月発行

編集 **光地区消防組合
消防本部総務課**

〒743-0011

山口県光市光井六丁目16番1号

電話 0833-74-5601

FAX 0833-74-5611

E-mail soumu@119.city.hikari.lg.jp

URL <https://119.city.hikari.lg.jp/>